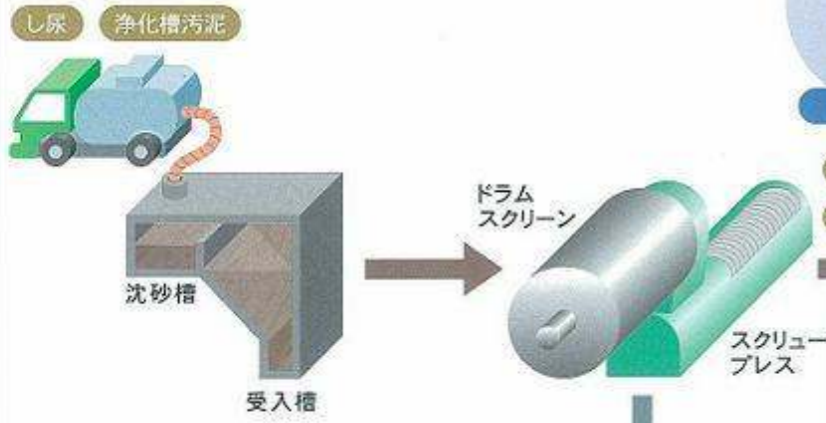


処理の流れ(し尿・浄化槽汚泥)



受入・貯留設備

搬入されたし尿・浄化槽汚泥は、沈砂槽で、砂や小石を除去した後、ドラムスクリーンによりトイレ紙などのごみ(し渣)を除去します。このし渣はスクレープレスで脱水した後、場外搬出します。



■受入室

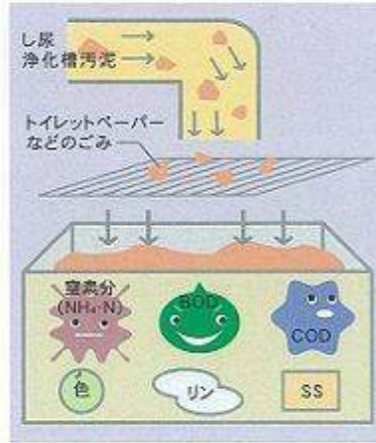


■ドラムスクリーン



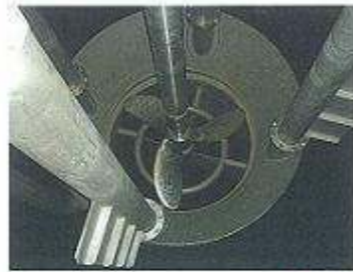
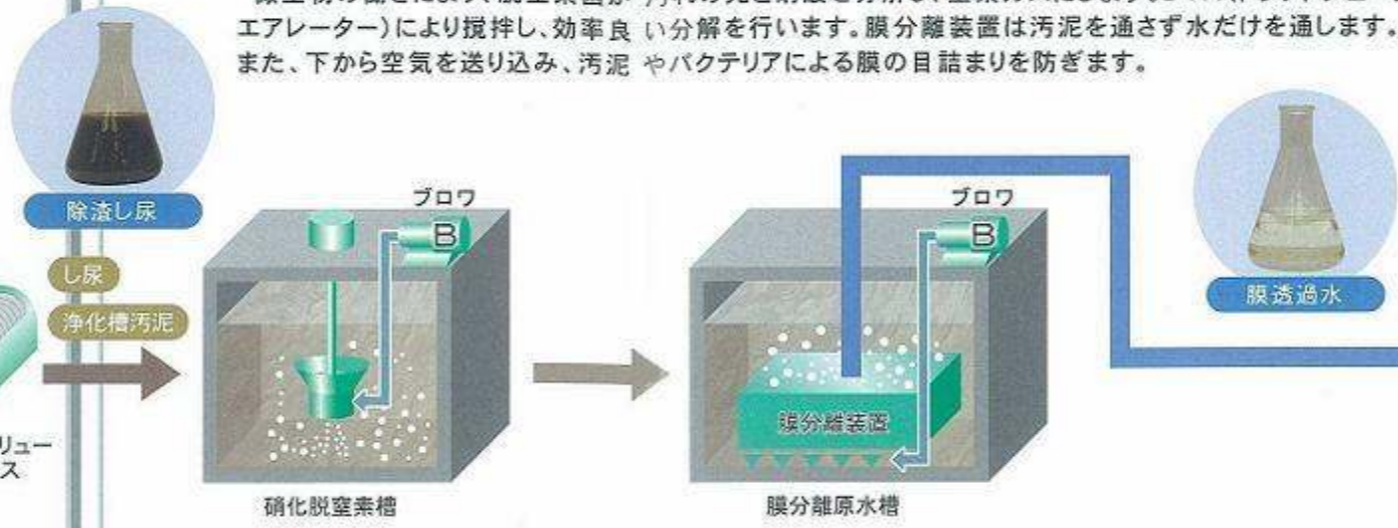
■スクレープレス

夾雑物除去のしくみ(ドラムスクリーン)



膜分離 高負荷脱窒素処理設備

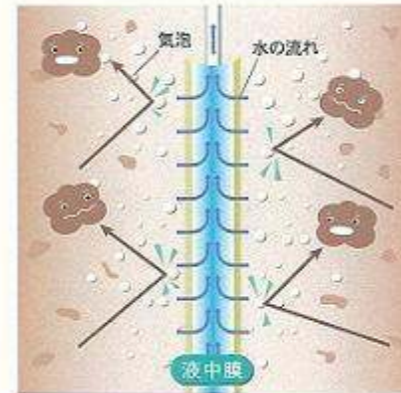
微生物の働きにより、脱窒素菌が汚れの元と硝酸を分解し、窒素ガスにします。DTA(ドラフトチューブエアレーター)により攪拌し、効率的な分解を行います。膜分離装置は汚泥を通さず水だけを通します。また、下から空気を送り込み、汚泥やバクテリアによる膜の目詰まりを防ぎます。



■DTA

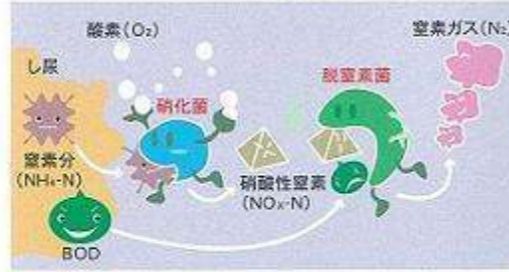


■液中膜



液中膜の断面図

この膜は汚泥を通さず、水だけを通します。下から空気を送り込み、汚泥やバクテリアによる膜の目詰まりを防ぎます。この汚泥は、メタン発酵の原料として使用します。

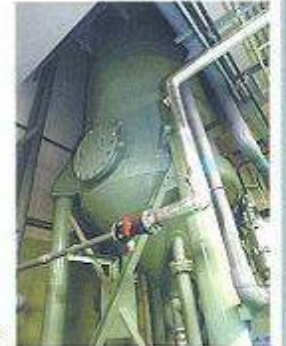
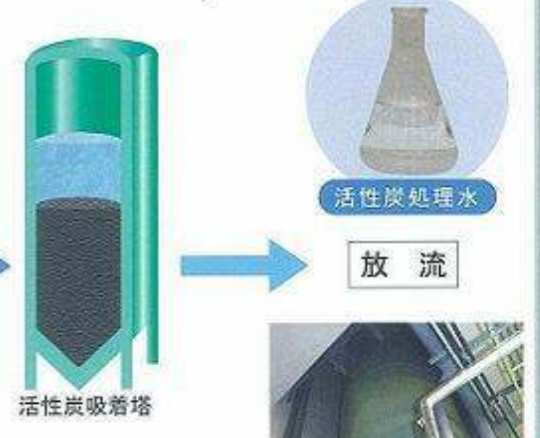


汚濁物質除去の原理

硝化菌がアンモニアを食べて硝酸にします。脱窒素菌が汚れの元と硝酸を食べて窒素ガスにします。

高度処理・消毒・放流設備

膜分離された水は、活性炭で吸着している汚れ(色度・化学成分)が取り除かれ、無色透明の処理水となり、最後に消毒して放流します。



■活性炭吸着塔

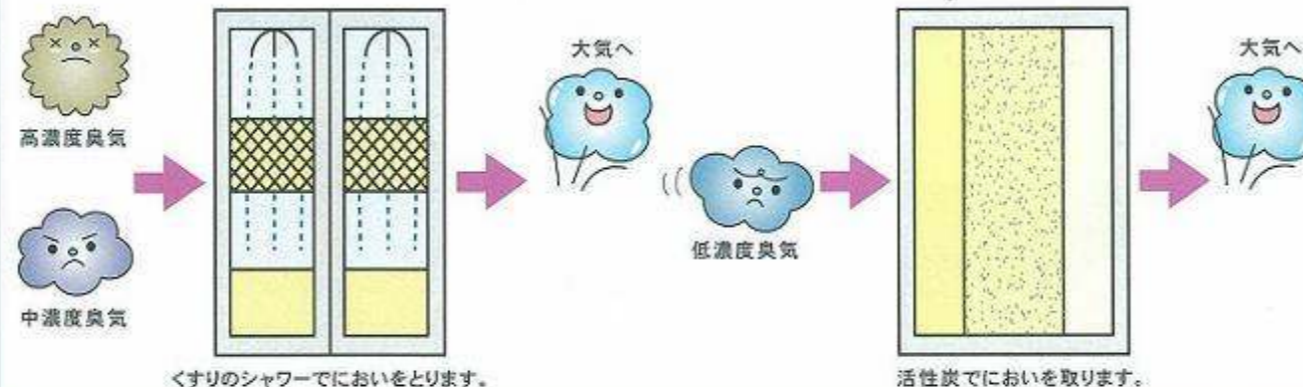


活性炭吸着のしくみ

活性炭の吸着作用によりCODおよび色度成分除去の仕上げを行います。

脱臭設備

場内で発生する臭気は、濃度別に処理して大気へ放出します。



水質試験設備

水質試験室では設備別に水質の分析を行い、安定した処理が行われているか毎日チェックをしています。



■水質試験室